インナー大会プレゼン部門 2016　専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）アトミガクエンジョシダイガク	フリガナ）マネジメントガクブ	フリガナ）タニモトゼミナール
跡見学園女子大学	マネジメント学部	谷本ゼミナール

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）	PPT 動画（有・無）
フリガナ）シャイン	フリガナ）シマムラリエ	5	無
シャイン	島村理恵		

研究テーマ（発表タイトル）
育児をしながら働く女性の現状～日本の働く女性を増やそう～

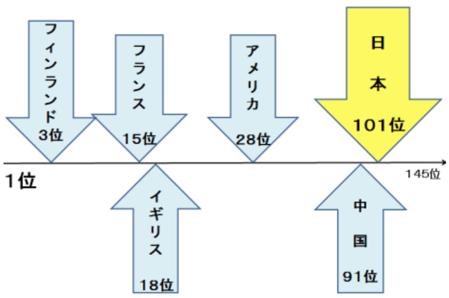
※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

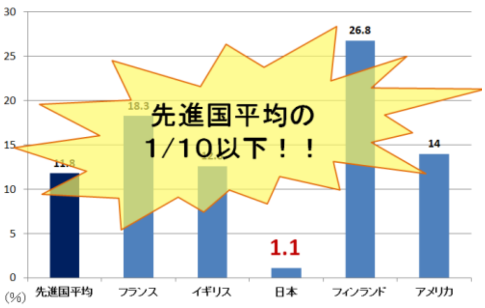
１．研究概要（目的・狙いなど）

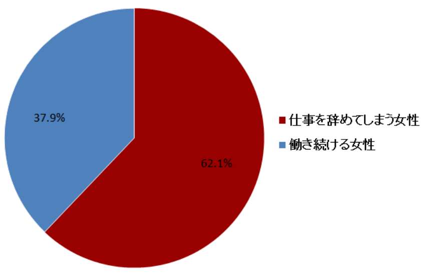
現在、育児をしながら働く女性の問題は数多く存在する。問題の一例として待機児童問題、再就職が難しいなどなど子供がいることによって多くの女性が再就職難に陥る可能性がある。私たちは、将来育児をしながら働く女性になりたい、そのような女性を増やしたいという願いを持ち日本の働く女性の現状を研究。

２．研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

女性の現状について調べた。まずは格差指数、順位が高いほど格差が少ないということになるが、ほかの先進国と比べると日本は男女格差があることがわかった。次に女性の役員比率について、先進国は10%を超えているが日本は平均の1/10以下であり、役員比率が低いことがわかる。最後に出産後の退職率、グラフを見る限り退職してしまう女性が半数いる。理由としては家事育児に専念する、仕事と育児の両立の難しさが半数を占めた。







３．研究テーマの課題

女性が働き続けられない大きな理由は時間と場所。家事や育児はほぼ女性の仕事だと昔から思われ続けてきた。女性の家事・育児の時間は男性の約 5 倍以上。育休を取る男性は 2.3%とても低い数値となっている。このような様々な問題が浮上し不安になる女性も多いだろう。そこで現在の日本の現状を知ってもらう、女子学生に今後自分に合った企業を見極めてもらえるのかが今回の研究課題となっている。

４．課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

解決策を考えるために、また自分自身が理解するために育児をする働く女性の生の声を聞くことが必要であると考え、4 人の女性にインタビューすることにした。インタビューから産休・育休後の問題、少子化、女性役員の大きく分けて 3 つの問題が浮上した。現実的にさまざまな問題があるがやはり、子供がいることで今まで以上に仕事に専念でき疲労時にでも母親にパワーをくれるかけがえのない存在になることがある。また日本と外国のキャリア形成の差もあり例として、アメリカでは実際キャリア形成に境界があったとしても、ガラスの壁の様に見えないものに対し、日本では見える壁があるのでいくら頑張ってもそれ以上に上に上がれない問題がある。海外の女性のキャリア形成を導入するなどのモデルを作りあげるのが一番の解決策だと考える。

５．研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

研究・調査・育児をしながら働く女性の方々からのインタビューを通じて、私たちはこれから就職する方、学生の方々に視野を広げてもらいたいということで「なでしこ銘柄」をとりあげた。なでしこ銘柄とは、女性活躍推進に優れている企業を選定する事業の事である。また、このように女性に優しい企業もあることを多くの人に知ってもらうために大学内にチラシを作成し掲示することにした。

６．結果や今後の取り組み

チラシを大学内に掲示することによって多くの女性の方に現状やなでしこ銘柄について知ってもらえたと思う。さらに、もっと身近に感じてもらう今後の取り組みとして、インスタグラムを開設。今回の研究を多くの人に知ってもらえるようにと定期的に更新し続けるように考えている。

７．参考文献

・women will Japan
https://www.womenwill.com/japan/insights/#/
・内閣府男女共同参画局
http://www.gender.go.jp
・GMI Ratings’ 2013 Women on Boards Survey
http://www.fortefoundation.org/site/DocServer/GMIRatings_WOB_042013.pdf?docID=19201
・女性役員・取締役比率の国際比較（2013 年）
http://10rank.blog.fc2.com/blog-entry-252.html
・三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング「両立支援に係る諸問題に関する総合的調査研究」' 平成２０年
http://www.mhlw.go.jp/houdou/2009/09/dl/h0929-1a.pdf
・「育メン」現象の社会学　石井クンツ昌子（著）　ミネルバ書
・出典：　国立社会保障・人口問題研究所「第 14 回出生動向基本調査（夫婦調査）」
http://www.ipss.go.jp/psdoukou/j/doukou14/doukou14.asp
・平成 25 年版少子化社会対策白書　概要版
http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2013/25pdfgaiyoh/25gaiyoh.html
・厚生労働省「平成 26 年度雇用均等基本調査」
http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/71-26r-07.pdf#search='%E5%8E%9A%E7%94%9F%E5%8A%B4%E5%83%8D%E7%9C%81%E3%80%8C%E5%B9%B3%E6%88%9024%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E9%9B%87%E7%94%A8%E5%9D%87%E7%AD%89%E5%9F%BA%E6%9C%AC%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E3%80%8D‘
・朝日新聞
http://www.asahi.com/special/taikijido/
・経済産業省平成 27 度レポート
http://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/diversity/nadeshiko.html

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

＜企画シート作成上の注意＞

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、3 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。